

関係副詞の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：6つの型を運用し、関係副詞と前置詞＋関係代名詞を場面で書き分けられる

入試へ挑むクラス 偏差値のめやす 60以上 前置詞＋関係代名詞・複合関係詞まで見ます（確認は4択）

気づき AとB、先行詞はどちらも the town（町）。なのに使う関係詞が違う。何が違う？（30秒考えて、となりの人と答え合わせ）

A	This is the town which I visited last summer.
B	This is the town where I stayed last summer.

先行詞はどちらも the town なので、「場所だから where」は使えません。見るのはうしろの文だけ—Aは I visited ____ で目的語が欠けているので関係代名詞、Bは I stayed ____ でそろっているので関係副詞。先行詞の意味は確認にしか使いません。

整理 この単元で扱う6つの型（関係副詞とその周辺）

形	作り方	表すこと	例文
where（場所）	先行詞（場所）＋ where ＋ そろった文	そこで～する	This is the cafe where we first met. ここが、はじめて会ったカフェだ。
when（時）	先行詞（時）＋ when ＋ そろった文	そのとき～する	I still remember the day when we won. 勝った日のことを今も覚えている。
why（理由）	the reason ＋ why ＋ そろった文	そういうわけで～	That is the reason why I chose this school. それが、この学校を選んだ理由だ。
how（方法）	how ＋ そろった文（the way は不要）	～するやり方	This is how I study English every day. これが、毎日の英語の勉強のしかただ。
前置詞＋関係代名詞	先行詞 ＋ 前置詞 ＋ which	関係副詞と同じ中身	This is the cafe in which we met. （同じ内容のかたい書き方）
複合関係詞	whoever / whatever / whenever / wherever / however	～する人は誰でも／どんなに～でも	You can sit wherever you like. 好きなところにすわっていいよ。

関係副詞は「前置詞＋関係代名詞」に書きかえられます（where→in / at which、when→on / in which、why→for which）。どの前置詞になるかは元の文で先行詞にどの前置詞が付くかで決まります（We met at the cafe. なら at which）。複合関係詞は no matter what / how の譲歩まで。

確認 （ ）内から正しいものを選ぼう。 知識・技能

- (1) This is the house (where / which / when / that) my grandmother lives.
- (2) This is the house (which / where / when / why) my grandmother built.
- (3) Tell me the reason (how / which / where / why) you changed your mind.
- (4) That is (the way how / how / the way which / how the way) she solved the problem.
- (5) (However / Whenever / Whatever / Wherever) you need is in this box.

関係副詞の見取り図 | 解答とつまずきポイント

確認の解答

(1)	where	うしろは lives で文がそろっている＝関係副詞。
(2)	which	built の目的語が欠けた＝関係代名詞。先行詞が同じでも変わる。
(3)	why	the reason のうしろは why。文はそろっている。
(4)	how	the way how とはいけません。 the way か how のどちらか一方だけ。
(5)	Whatever	「必要なものは何でも」＝need の目的語が欠け、 かたまりが文の主語。

つまずき① 先行詞の意味で関係詞を選ぼうとする

「場所だから where」「時だから when」は、the town which I visited や the day which I will never forget で必ず破綻します。先行詞はwhere と when のどちらかを選ぶときにだけ使う情報です。見るのはうしろの文に穴があるか—それだけ。

× This is the town where I visited last summer. → ○ This is the town which I visited last summer.
visited の目的語が欠けている（穴がある）ので関係代名詞。where だと visited の目的語が行き場を失う。

つまずき② the way how と並べてしまう

the way how とはいけません。 This is the way I study. か This is how I study. のどちらか一方です（the way in which はかたい書き言葉で可）。ほかの3つ（where / when / why）は先行詞と並べても大丈夫なので、how だけが例外です。

× This is the way how I study English. → ○ This is how I study English. / This is the way I study English.
how だけは先行詞を取らない。4つのうち1つだけ例外だと知っていれば落とさない。

つまずき③ 関係副詞は「前置詞＋関係代名詞」と中身が同じ

the cafe where we met = the cafe in which we met。関係副詞は前置詞のぶんまで引き受けているので、うしろの文がそろって見えます。だから where のうしろに in を足すと二重になります。入試ではこの言い換えがそのまま出ます。

× This is the cafe where we first met in. → ○ This is the cafe where we first met. / This is the cafe in which we first met.
where がすでに in the cafe の意味を含んでいる。前置詞を足すと重複。

つまずき④ 関係副詞は省略できることがある

the day (when) we met / the place (where) we met のように、先行詞と関係副詞は、どちらか一方を落とせることがあります。よく落ちるのは when と the way、それに the place のような一般的な語です。ただし the town where I stayed のような具体的な名詞では where を落とせません。読むときは「関係詞が見えない＝無い」ではなく**省略を疑う**—長文で主語と動詞を取りちがえる原因はここです。

× I remember the day we met it. → ○ I remember the day we met.
when が省略されているだけで、うしろの文はそろっている。目的語を足す必要はない。

つまずき⑤ 複合関係詞の -ever を「疑問」と読む

whatever / whenever / wherever / whoever は「～するものは何でも」「～するときはいつでも」で、疑問ではありません。However hard it is, I will keep going. のように「どんなに～でも」の譲歩にもなります（この形は入試の定番）。

× Whatever do you want? I will buy it for you. → ○ Whatever you want, I will buy it.
-ever の文は疑問文の語順にしない。「何がほしくても」＝かたまりで主語や副詞になる。

授業のひとつ 前日にこの紙を配り、確認問題まで解いてこさせる反転で使えます。授業は「関係副詞と前置詞＋関係代名詞のどちらで書くか」の検討に充てると、この帯の知的負荷に見合います。

